１．発達障害情報・支援センターのあゆみ

平成１７（２００５）　４月：発達障害者支援法施行

平成２０（２００８）　３月：厚生労働本省に「発達障害情報センター」開設

１０月：センター機能を国リハへ移管

平成２２（２０１０）　１月：ウェブサイトの本格稼働（HPの全面リニューアル

平成２３（２０１１）１０月：調査・研究機能を付加し、「発達障害情報・支援センター」と改称

平成２８（２０１６）　６月：発達障害者に対する切れ目ない支援、家族を含めたきめ細かな支援、身近な場所で受けられる支援等を目指し、発達障害者支援法改正

平成３０（２０１８）　３月：トライアングル（発達障害児などに対する家庭と教育と福祉の連携）プロジェクト報告

令和　３（２０２１）　４月：教育、福祉、医療・保健、労働に渡る発達障害に関する情報に特化した「発達障害ナビポータル」を運用開始

令和　４（２０２２）　４月：「発達障害ナビポータル」上に教育・福祉連携のための人材育成コンテンツ公開

４月：「発達障害ナビポータル」上に自治体取組情報検索ツール開設

令和　５（２０２３）　5月：「発達障害ナビポータル」上に本人・家族向け情報検索ツール「ココみて(KOKOMITE)」開設

※　国立障害者リハビリテーションセンターでは、障害のある方々への医療（病院）や、福祉サービス（自立支援局）の提供、リハビリテーション技術や福祉機器の研究開発（研究所）、リハビリテーション専門職の人材育成（学院）のほか、国内外の情報の収集及び発信（企画・情報部）を行っています。

発達障害情報・支援センターは企画・情報部に設置され、発達障害に関する情報の収集・分析・提供、調査・研究等を行っています。

２．発達障害情報・支援センターの業務

（１―１）情報収集

・　推進テーマ※に即した情報の収集

・　発達障害に関する研究情報、イベント情報等の収集（←エビデンスのある情報）

（１―２）情報の整理・分析

・　情報の整理・分析、効果的・効率的な情報発信のための検討（必要に応じ、有識者、研究者等を招集し、情報分析会議や作業部会で検討

（１―３）情報発信・普及啓発

・　ホームページ、発達障害ナビポータルを通じた情報発信

・　全国の発達障害者支援センター等への情報提供

・　啓発パンフレット等の作成・配布

・　世界自閉症啓発デー日本実行委員会への参画

（２）調査・研究

・　推進テーマ※に即した調査、検討

・　障害者総合福祉推進事業等の課題に対応した調査研究等

・　研究所等との連携

（３）人材育成

・　支援者向けセミナーの開催

・　発達障害者地域支援マネジャー全国会議等の開催

・　学院や厚生労働本省等と連携、研修の企画、立案

・　推進テーマ※に即したeラーニングコンテンツの作成等

注）（２）（３）は（１－３）情報発信・普及啓発にもつながっていきます。

発達障害情報・支援センターとの連携

（外部機関）

・　発達障害者支援センター

・　国立特別支援教育総合研究所（発達障害教育推進センター）

・　国立のぞみの園

（内部組織）

・　学院

・　研究所

・　自立支援局

※推進テーマ

「地域支援」

　・　発達障害支援体制充実に資する情報収集

　・　自治体・地域における取組実態の調査

　・　地域における支援人材育成のあり方検討

「発達障害医療・福祉連携」

「教育・福祉連携」

　・　連携推進に資する情報収集

　・　連携の実態に関する調査

　・　連携推進のための人材育成のあり方検討　など

→　これらの取組を通じて、発達障害のある方々の「自立」と「社会参加」のための生活全般を支援